

# 国語科 中学校2年

単元名  
「対義語・類義語・多義語」

## 本時の流れ（第2時）

- ・本時の目標と課題について理解する。
- ・前時に学習した対義語・類義語について確認する。

- ・多義語を例示し、多義語の意味を理解する。

- ・教科書の類題を解く。  
多義語は、文の中で使われてはじめて、具体的な意味が理解できることを理解する。

- ・既出の多義語以外の多義語を考え、問題形式で発表する。（グループ学習）



- ・本時の振り返りを行い、自己評価表にまとめを記入する。

本時の目標

- 多義語の意味や用法について理解し、文脈にふさわしい語を使用する。

### 【本時のめあて】

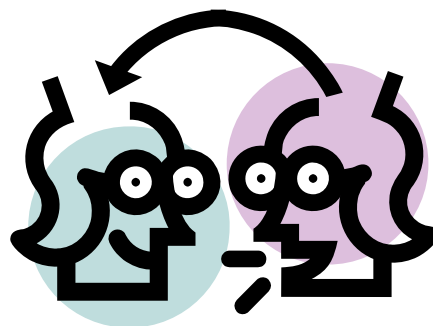
- ・多義語を理解して、クイズをしよう。

### 【指導のポイント】

問題形式で発表させるには、以下のような工夫が必要である。

- ①教科書の類題を解く際に、問題や解答の示し方を例示しておく。
- ②そのために、模造紙に類題、解答を書いて用意しておく。
- ③模造紙、マジックだけでなく、色紙や付せん、はさみなど、各グループで発表を工夫できるような用具も準備する。

また、模造紙に書く際には、字形や文字の大きさ、配列などについて注意させ、発表についても、話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどに注意して発表させる。



[授業展開例へ](#)

[評価問題](#)

[単元の流れへ](#)

[HOME](#)